

4 「学習者主体の授業」の進め方について、実践例はありますか

Answer

P16 から具体的な実践例を五つ紹介します。

実践例では、子供に育成する資質・能力によって、どのような自己選択・自己決定の機会を確保するかという視点をもつとともに、その視点で振り返ったり、学びを調整したりする場面を設定しています。

その際、授業において子供が自ら問いを発見したり、解決の方法を見通したり、協働しながら解決に向けて試行錯誤したりするとともに、学びを振り返る場面を設定することで、学び方を身に付けさせることが重要です。

例えば、総合教育センターでは、学習者が選択する視点として以下の五つを示しています。

学習者が選択する視点とは



「道具・活動」の自己選択・自己決定

- ☐ ノート，黒板，具体物，タブレット端末，体験など



「学習形態・スタイル」の自己選択・自己決定

- ☐ 一人で考える，ペアで考える，グループで考えるなど



「学習時間・ペース」の自己選択・自己決定

- ☐ 考える時間，説明する時間，解説を聞く時間など



「解決方法・考え方」の自己選択・自己決定

- ☐ 図，言葉，書く，聞くなどして考える



「課題・めあて」の自己選択・自己決定

- ☐ 学習課題，内容，対象，適応問題など

学習者主体の授業



子供が自ら問いを発見する

「どうしてこうなるのかな」，「それはどういうことかな」

子供が自らの学びを振り返り，次に生かす

「この方法がよかったな」，
「これがよくなかったから，次はこうしたらいいぞ」

子供が解決の方法を見通す

「何か使えそうな考えはないかな」，
「この方法でやってみたいな」



子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す，協働する

「できるまで挑戦するぞ」，「あの友達に聞いてみよう」

実践例

実践例 1

実践例Ⅰ 小学校国語科 喜界町立喜界小学校
第3学年 れいの書かれ方に気をつけて読み、それをいかして書こう
教材名 「すがたをかえる大豆 食べ物のひみつを教えます」

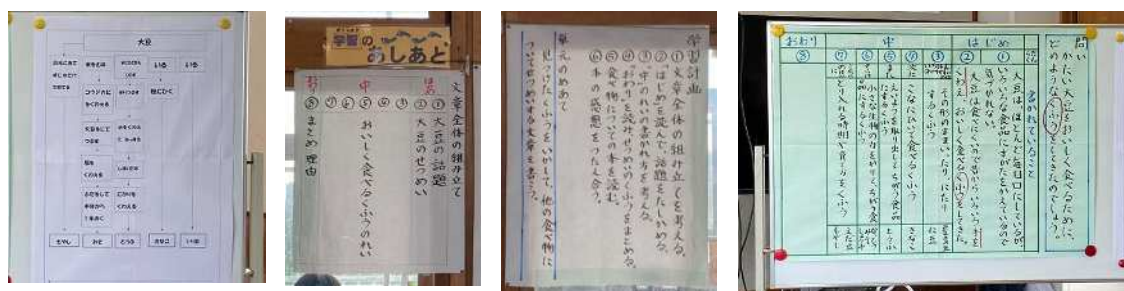
「学習者主体の授業」づくりのポイント

- 導入の場面では、本時の見通しをもつことができるように、単元の目標や既習事項等を教室に掲示したり、前時までの振り返り等の資料をタブレット端末に準備したりする。
- 展開の場面では、粘り強く学習に取り組ませるために、まず、個人で解決する時間を確保し、その後、ペアやグループで教え合ったり、担任からヒントをもらったりするなど学習形態を工夫して問題解決できるようにしたりする。
- 終末の場面では、「何を学んだか。」「どのように学んだか。」を振り返り、次時の学習に生かすことができるように、学んだこと・友達との関わり・これからしてみたいこと等の視点で振り返りをノートに記入させる。また、振り返りの内容について、友達と交流する時間を十分設ける。

実践例 2

- 既習内容(説明文の構成や筆者の問い)を確認する。

この単元の目標は何でしたか。そのために、前時は何をしましたか。



ポイント

- 単元を通して学びがつながるように、学習で用いた資料等を教室内に掲示したり一人一台端末にデータを蓄積させたりするようにします。また、自分で記入した前時までの振り返りを読み返す時間を確保するようにします。

- 本時の学習課題を確認し、学習の見通しをもつ。

たくさんの例がありますが、書かれている順番に意味があると思いますか。



あると思います。「いちばん分かりやすいのは」と書いてあるからです。



でも、何が分かりやすいのか、いろいろ考えられるよね。



どのような理由で書かれている順番が決められているのか、文章を読み返してみよう。

【学習課題】

筆者はどのような理由で、「例」の順番を決めたのだろう。

実践例 4

実践例 5



「解決方法・考え方」の自己選択・自己決定



「学習形態・スタイル」の自己選択・自己決定

□ 学習課題を解決する。

個に応じた見通しの支援



個での試行錯誤や協働の
選択



解決した課題の共有・吟味



「分かりやすい」とあるけど、例の
分かりやすさは、何を見て比べればい
いかな。

例の分かりやすさを比べる視点など、なか
なか解決の見通しがもてないときは、掲示し
てある「段落のまとめ」の一覧表を参考にし
てください。

例の順番にどのような理由があるか、考え
をクラウドに入力してください。他の人の考
えを参考にしてみるのもいいですね。



〇〇さんの考えが参考になるなあ。僕
の考えも、もう一度見直してみよう。

グループで交流をして、よく分からなかっ
たところを質問したり、自分の考えに意見や
助言をもらったりしましょう。



💡 ポイント 💡

- 「一人で考える」「友達と考える」「先生と考える」など、学習形態を見童に選択させるようにします。また、ワークシートを複数用意し、個の理解の状況に応じて使い分けて自己解決を図らせます。

□ 本時のまとめ、振り返りを行う。

振り返り



新しい問いの発見



今日の学習を通して、どのようなことに気付
きましたか。分かったことや気になったことがあ
りましたか。



最後の段落の書き方は、自分たちの説明文づ
くりを生かすことができると思いました。

💡 ポイント 💡

- ICT を活用し、集約した振り返りを見童が共有できるようにします。その際、振り返りの視点に沿った価値付けなど具体的な称賛を行うと効果的です。



各教科において、学習指導要領の趣旨
を踏まえた教材研究は欠かせません。
参考資料はこちらから。

← 総合教育センター

「学習指導要領の趣旨を踏まえた教育の
改善に関する研究」



全 43 市町村教育委員会から提出
していただいた「学習者主体の授業」
実践例はこちらから。

← 鹿児島県教育委員会

「「学習者主体の授業」実践例」



総合教育センター調査
研究発表会のまとめはこ
ちらから。

← 総合教育センター

「調査研究発表会」



教科等の課題及び総合的
な課題解決に資する基礎的・
総合的な調査研究を基にし
た参考資料はこちらから。

← 総合教育センター

「指導資料（令和 5 年度発行分）」